



水引教室で習った「コサージュ作り」ですが、「六つ編み」「リーフ編み」の名称があるらしい。水引とはいっても私には編み物のようで閉口しました。調査の結果、次のような情報を得ることができました。

以下引用転載記事で、「ぴよぴよ時間」というブログです。

水引の本をパラパラめくっていたら作り方がおもしろいと思った作品があっってみているうちに試したくなってきて100均の水引きで作っちゃいました。



ついでに葉っぱとかガクなどもつけてみました。なぜ緑じゃないかという白い水引が家にわりとあって、予てより減らさなきゃなあって思っていたりしたので。

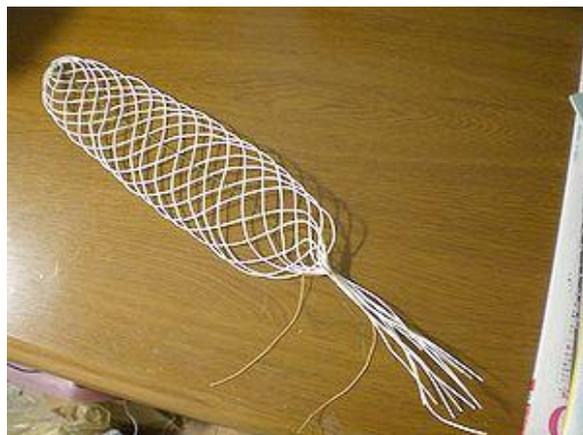
葉っぱが白なら全部白くしちゃおうかなあとも思ったけど家にあるフローラテープもワイヤーも緑のみだったので茎も葉っぱの芯も緑色に。。

花芯は凡天を使ってみましたけど微妙だったかな・・・花芯の凡天もそうですが色々と本のものとは違った感じになってしまっていたりします。なんかレーシーで涼しげな気がするのでこの暑い時期にいいかも。

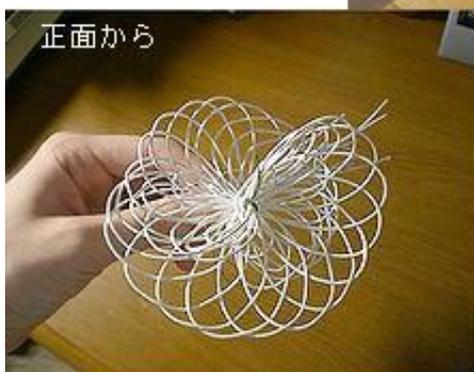
裏側はこんな感じ。



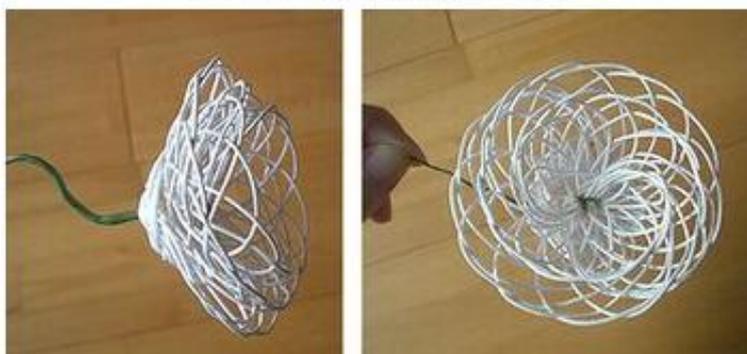
ガク、微妙になってしまったような・・・このお花、はじめはこんな姿をしています。



写真じゃわかりにくいですが中心にワイヤーを編みこんでいてこれを軸に下から上へと縮めていきます。そうするとワイヤーを軸にグルグルっと螺旋状にまとまっていきます。



中心を捻って形を整えたところ



こんな感じです。

最後の写真は後ろにガクがついちゃってます。ホントは何もない状態で記録しておきたかったのに忘れちゃったので💧

最後に花の中心をつまんで回転させて形を整えて紐でくくったりボンドなどで固定したりしたんですがなかなか自分が綺麗だって思った形が留まってくれなくてカナシかった。(´
3`)σ||

でも変形作業がおもしろくてこのお花、増えちゃいました。



9本あります。

毛糸の芯の空洞にメラニンスポンジを捻じ込んでそこにプスプス突き刺してみました。

せっかく作ったので自分の部屋に飾っていますがなかなかいい感じかも♪

◆参考にした本◆

水引アート入門 ～基礎結びでつくる 花・インテリア小物～

梶 政華 日貿出版社

